

兵庫県 の 地震 活動

2026 年（令和 8 年） 2 月

震央分布図・断面図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

一口メモ

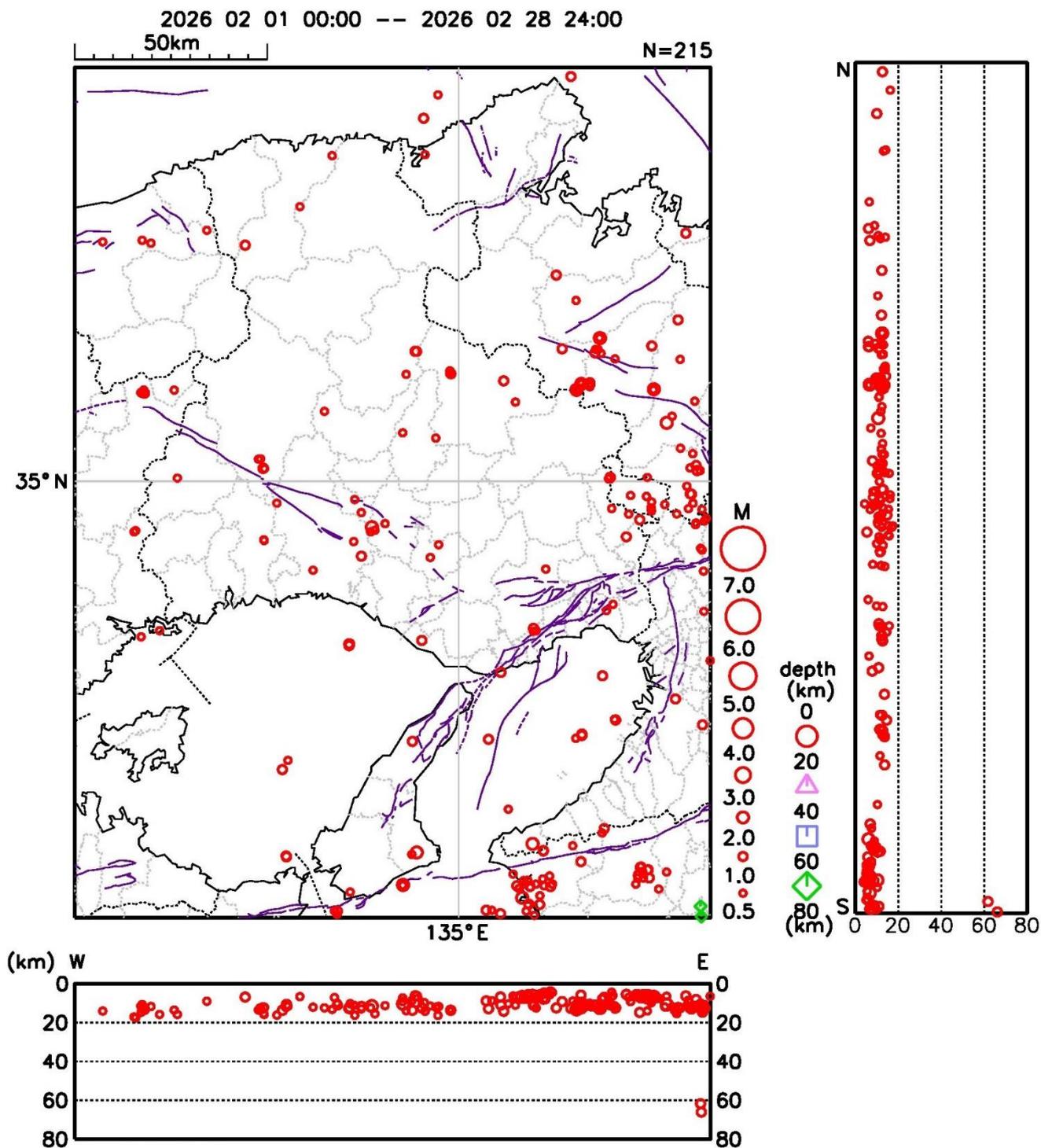
引っ越しシーズンに地震への備えを見直しませんか？

・・・・・・・・・・ 2

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
 注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概況

— 2月の概況 —

今期間、兵庫県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。

一口メモ 引っ越しシーズンに地震への備えを見直しませんか？

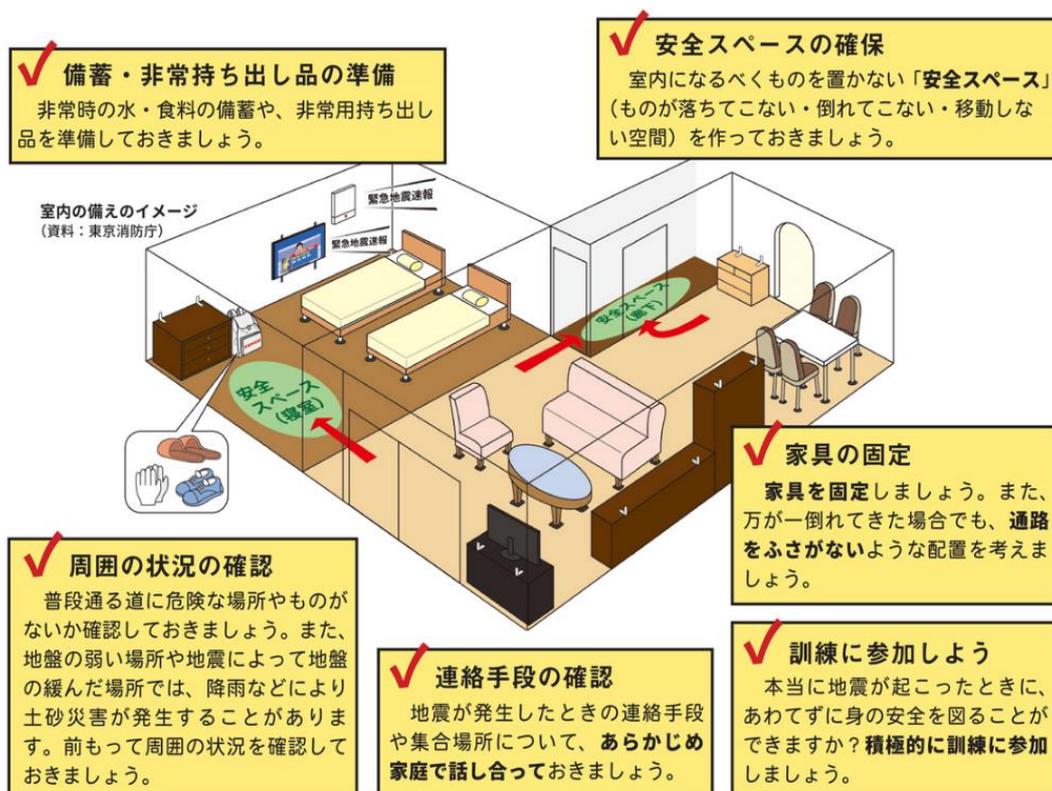
日本は世界有数の地震多発国で、これまで多くの地震や津波による災害を経験してきました。地震はいつ、どこで発生するか分かりません。引っ越しシーズンを迎えるこの時期に、突然の揺れから身を守るための備えについて改めて確認しましょう。

3月は、進学や就職、転勤などにより引っ越しをされる方が多い時期です。新しい住まいでの生活を始めるにあたり、家具の配置や生活動線を整えるとともに、地震への備えについても確認しておくことが大切です。日本はこれまで多くの地震や津波による災害を経験してきました。平成7年（1995年）の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）では最大震度7※を観測し、県内を中心に甚大な被害が生じました。地震は特定の地域に限らず全国各地で発生しています。新たな生活環境においても、突然の地震に備える必要があります。

新居では、家具の固定や配置を工夫し、室内になるべく物を置かない「安全スペース」（物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない空間）を確保しておきましょう。揺れを感じたときや緊急地震速報を見聞きしたときは、安全スペースに移動し、揺れがおさまるまで身の安全を守ることが重要です。また、家具が倒れた場合でも通路をふさがない配置を心がけましょう。

あわせて、新たな居住地での避難先や避難経路を確認し、周辺に危険な場所がないかを把握しておきましょう。食料や飲料水などの備蓄、非常持ち出し品の準備、家族との連絡方法の確認も重要です。引っ越しは生活を見直す機会でもあります。この機会に、日頃からの地震への備えについて改めて確認しましょう。

※気象庁の地震機動観測班の現地調査により決定



(参考) 気象庁ホームページ「地震から身を守るために」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/jishin_bosai/index.html